

議題 2

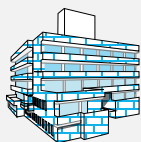
～令和3年度 ラコルタ柏（教育福祉会館）の振り返り

誰もが集える みんながつながる 地域へ広がる



1. これまでの活動【総論】 ～リニューアル決定からこれまで～

官民協働検討委員会における取組の整理



<機能面の充実>

- ①バリアフリー化等の推進
- ②オープンスペースの活用, 福祉意識の醸成
- ③総合受付の設置
- ④多目的スペースの活用
- ⑤福祉総合相談窓口等の設置



～令和3年度状況

- ・館の**リニューアル**に合わせて**整備**
 - 多目的トイレの各階設置
 - 点字ブロック, スロープ等の設置
 - 障害者雇用を意識した喫茶のリニューアル

- ・**リニューアル後の整備**
 - Wi-Fiの全館設置 (3月22日開始予定)
 - デジタルサイネージによる案内版の整備



3階オープンスペース



3階総合受付



各階多目的トイレ



1階総合相談窓口



2階多世代交流スペース



3階カフェスペース

1. これまでの活動【総論】

～リニューアル決定からこれまで～

官民協働検討委員会における取組の整理

<活用面の充実>

①福祉センターの相互利用

既存の福祉活動を尊重しつつ、年齢別や分野別の枠を超えた福祉センターの相互利用、多世代交流や高齢者の力を子育て支援等に活かす活用の検討を進める

<活用面の充実>

②子ども、若者の居場所づくり

施設の利用が少ない子どもや若者の意見を取り入れ、活動できる場の機能構築や居場所づくりの活用の検討を進める

<活用面の充実>

③生涯学習のハブ機能を有する拠点施設

→地域活動に貢献できる人材の育成や地域が抱える課題解決のための学習の実施など、公民館での活動中心から地域へ発信するネットワークの拠点を目指す

～令和3年度状況

・老人福祉センター、障害福祉就労支援センター、地域福祉センターのそれぞれを「**総合福祉センター**」として運用。

・**多世代交流スペース**を活用し、多世代の**交流が生まれる活動**を意識した企画運営を実施。
・**若い世代の参画**を促し、既存団体からの提案事業に留まらず、**高校生の企画提案**を着手
・学生等の学習支援や居場所づくりを目的として、**学習スペース**を設置

・自主活動支援講座において「**コミュニティづくり講座**」や「**地域情報発信の勉強会**」を実施。**自主活動グループの形成を図る**ことを目指す
・広く市民に情報収集を行い、四季折々の館装飾を実施。**装飾の企画から担える人材の育成**を目指す
・公共施設の花壇を利用して、土づくり花育ての講座を実施。心と空間づくりを提供するとともに、**生涯学習と地域づくりの担い手**を育成

1. これまでの活動【総論】

～リニューアル決定からこれまで～

官民協働検討委員会における取組の整理

<運営面等>

①利用者目線に立った施設の一体的な運用
中央公民館と福祉センターで異なっている予約方法や利用条件について、施設を利用するための一体的なルールづくりの検討や利用者目線に立った一体的な運用を目指す

<運営面等>

②情報発信機能の充実
ホームページ等の充実を図り、広く市民に対し情報を発信し、近隣センターとの連携により、中央と地域の情報を相互利用できるように取り組む

<運営面等>

③地域人材の育成、発信拠点
個人、団体の活動支援を行い、団体相互の交流を活発化し、新たな活動の創造に繋げる。また、公民館活動、福祉活動を中央から地域へ発信するハブ機能及び地域にある課題を集約、共有することで地域へ還元する仕組みを創設する

<運営面等>

④その他
市役所に近い利点を生かした施設運営や市民に親しみやすい名称変更等の検討も進める

～令和3年度状況

・ **料金と利用条件の一体化**

→総合福祉センターの有料化と利用面積に合わせた料金設定
→登録団体の条件を統一し、相互利用を実現（令和4年度～）

・ **ラコルタ柏ホームページの開設**

→イベント情報の常時更新

・ **SNSの活用**

→「はぐはぐ」との連携、FacebookやTwitterを活用するなど、年齢層に合わせた情報発信

・ **地域人材の育成につながる講座の実施**

→地域課題講座、自主活動支援講座等
→今後は地域人材の育成や地域へ発信するハブ機能としての役割を意識しながら継続的に取り組む

・ 愛称「**ラコルタ柏**」の決定

→ロゴの決定



2. これまでの活動【各論】 ～ラコルタ柏連携事業～

R3活動（実施のきっかけ）

ラコルタ柏探検ツアー

- 新しくなったラコルタ柏の館の中（お部屋やオープンスペースなど）を見てもらい、館に興味を持ってもらう。
- 館を身近に感じてもらい、使い方や活用方法をイメージしてもらう。



活動の結果

- ・参加者 17名
- ・8/22, 8/26 2日間開催



活動の成果（参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと）

- ・参加者はほとんどがラコルタ柏初めての来館者であり、館の機能等についてしてもらえる機会となった。
- ・ワークの中で、館でやってもらいたいこと、自分でやってみたいことなどを発表してもらいニーズの掘り起こしの機会となった。
- ・参加者の満足度は全員高く、また開催してほしいなどの声も聞こえ館の魅力や参加者主体型の企画のニーズの高さを再確認できた。

2. これまでの活動【各論】

～ラコルタ柏の取り組み～

R3活動（実施のきっかけ）

ラコルタ柏フェスティバル

（11/13, 11/14 2日間開催）

→「新しい日常にエールを！」をテーマとした、30団体の実行委員会形式による、全館イベント

活動の結果

参加者：1日目：764名

2日目：548名，計：1,312名



活動の成果（参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと）

- ・全館を通しての実施というなかで、福祉分野と教育分野，団体同士の交流などが少しづつ実感でき、「やって良かった」と素直に感じてもらえた声を多く得られた
- ・団体の発表だけに留まらず回遊性を持たせることを目的に，高校生企画により「スタンプラリー」を実施。若年層が館づくりの担い手として活躍。
- ・各団体のコラボ企画をオープンスペースで実施。教育と福祉の枠を越え，来館者のためのイベント企画へと発展

2. これまでの活動【各論】

～ラコルタ柏の取り組み～

R3活動（実施のきっかけ）

社会課題をアプリで解決する プログラミング講座

（全8回連続講座）

→高校生の館の利用を促し、地域や地域課題に興味を持ってもらう



活動の結果

- ・参加者 高校生7名
- ・現在進行形（6回まで終了）



活動の成果（参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと）

- ・参加者は全員高校生の男子であったが、回を重ねるごとにプログラミングを活用した課題解決まで視野を広げ、技術の体得だけでなくその活用まで考える姿勢が身についている。
- ・参加者の対話力が非常に成長しており、お互いに建設的な意見を言い合える姿勢やそれを受けて止めて次に活かす力が着実に育まれている
- ・学生にとっては長期にわたる連続講座ゆえ、講座期間中の模試やテストなども考慮した時期設定をもう少し練る必要があった。

2. これまでの活動【各論】 ～ラコルタ柏連携事業～

R3活動（実施のきっかけ）

野菜いっぱいワンプレート朝ごはん

→親子スペースに集う保護者から「子どもが野菜を食べない」という子育ての悩みを聞く。
→調理室の稼働率が低く、部屋の周知につながる企画を実施し利用増に繋げたい。

活動の結果

実施日：12月3日
参加者：大人5名、幼児3名



活動の成果（参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと）

- ・ラコルタ柏へ初めて来訪された30代女性：「引っ越してきたばかりでしたが、近くに住んでいる方とお友達になれました。また企画してください。」
 - ・子連れで参加された30代女性：「子どもを見てもらえて助かりました」
 - ・お孫さんのいる70代女性：「孫に喜んでもらえるお洒落なお料理を覚えられました」
- コロナウイルスの影響から、別室での保育はつけず、急ぎょ調理室の一角にマットを敷いて見守り保育スペースを設けた。保育つきで実施できると、子育て世代の参加者増が見込まれる。

2. これまでの活動【各論】 ～ラコルタ柏連携事業～

・ R3 活動（実施のきっかけ）

ゲームで学ぶプログラミング 一緒に学ぼう！囲碁・将棋

→多世代交流スペースに来ていた高校生から「こんなことをやってみたい」と、部活動を活かした企画の提案があった。
→社協担当者との打合せに中央公民館職員も加わり、青少年教育事業として実施することとなった。



活動の結果

プログラミング：12月26日実施、参加者17名
囲碁・将棋：12月27日実施、参加者18名

活動の成果（参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと）

- ・プログラミング：「今まで参加した(同様の)講座で一番楽しかった」
 - ・囲碁・将棋：「家族以外の人と対戦するのは緊張したけれど勉強になった」
- 高校生の自発的な提案から講座実施につながり、講師として若い世代の活躍の場を創出できた。
→「囲碁・将棋」は、シニア層の登録団体の新たな活動の機会となり、多世代交流の場となった。
→今後、他の部活動への波及や新たな企画の考案等、高校生の継続的な参画が期待される。

2. これまでの活動【各論】 ～ラコルタ柏連携事業～

R3活動（実施のきっかけ）

館内装飾ビジュアルセミナー

- 館を四季で彩り，情報発信する。
- 館内装飾情報の収集と受講者間の情報交換をし，魅力的な情報発信について考える。
- 館の四季装飾を考案し，館内装飾を手掛ける。
- 平面・立体・空間・音響のアレンジ等を話し合い，今後の活動を探る。



活動の結果

9月：ハロウィン・デコ（55名） 11月：クリスマス・デコ（20名）
12月：正月飾り（29名） 1月：節分飾り（9名）



活動の成果（参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと）

・地域の方がボランティアで，絵本の読み聞かせや作品作りのお手伝いに参加しており，参加者同士のコミュニケーションの繋ぎ役になっている。

2. これまでの活動【各論】 ～ラコルタ柏連携事業～

R3活動（実施のきっかけ）

情報発信の充実

→FacebookやTwitterなどのSNSの活用とHPの新設により情報発信の強化をおこなった
→市の既存の情報媒体との連携も行いより事業ターゲットにピンポイントで情報が届くよう工夫を行った

活動の結果

- ・FB、Twitter、HPの開設
- ・はぐはぐ柏等既存プラットフォームとの連携

活動の成果（参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと）

- ・Twitterの情報リーチ数がやはり群を抜いており、FB及びHPでの情報発信はより工夫が必要である。
- ・投稿内容も投稿者の心情等が伝わるものがより多くの反応を得ており、発信する情報の質については今後も協議していききたい。
- ・プレスリリースなど市以外の情報発信媒体との連携をより密にし、多角的な情報発信の強化に努めていきたい。

